

コレクション展

# 現代染色の屏風祭

— 祇園祭によせて —

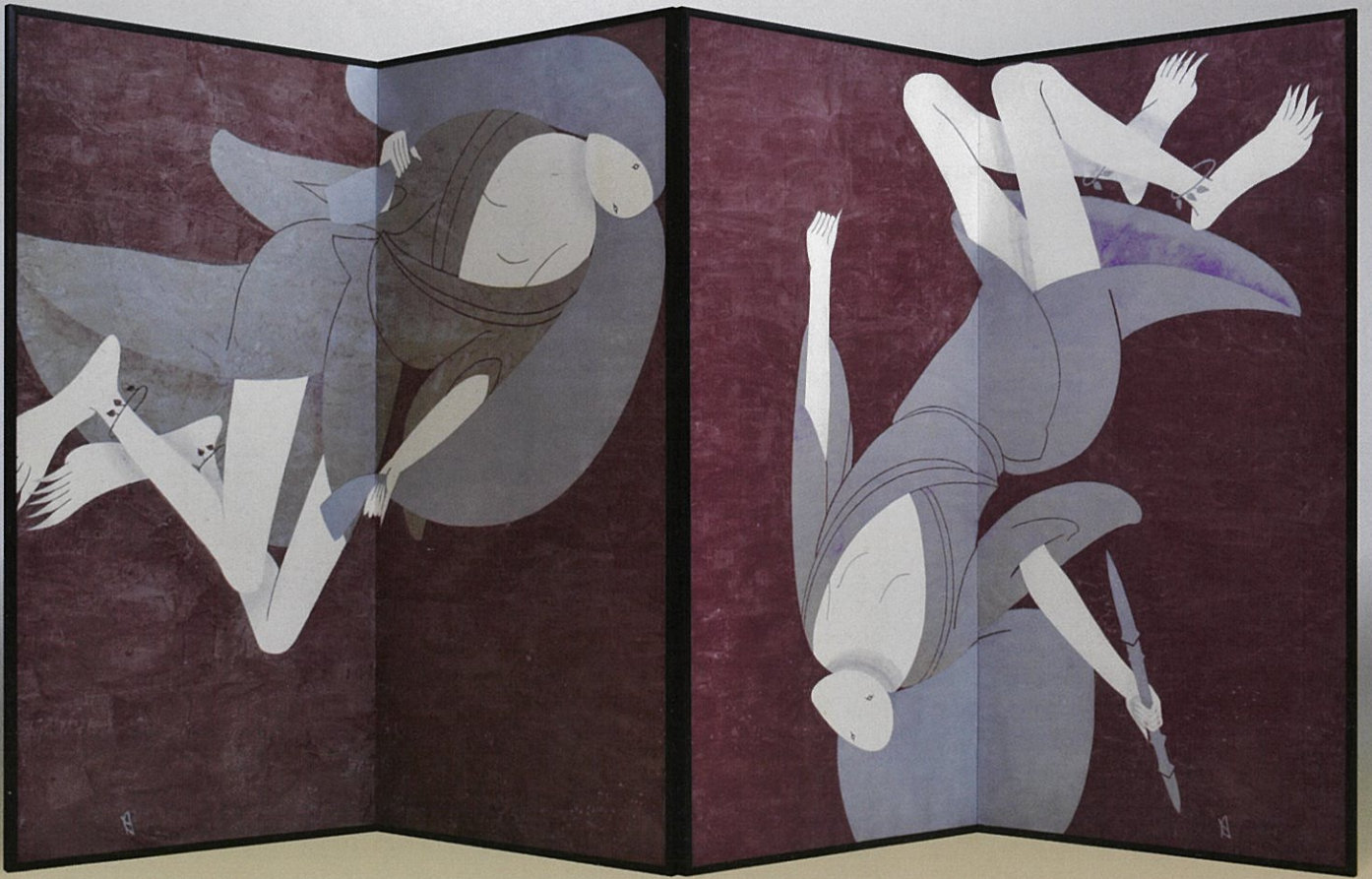
2024 6.28fri - 7.28sun

[会場] 染・清流館

[開館時間] 10:00~17:00

[休館日] 月曜 (祝日の場合は翌日)

[入館料] 大人300円、学生200円



来野 月乙 「風神・雷神」 二曲一双

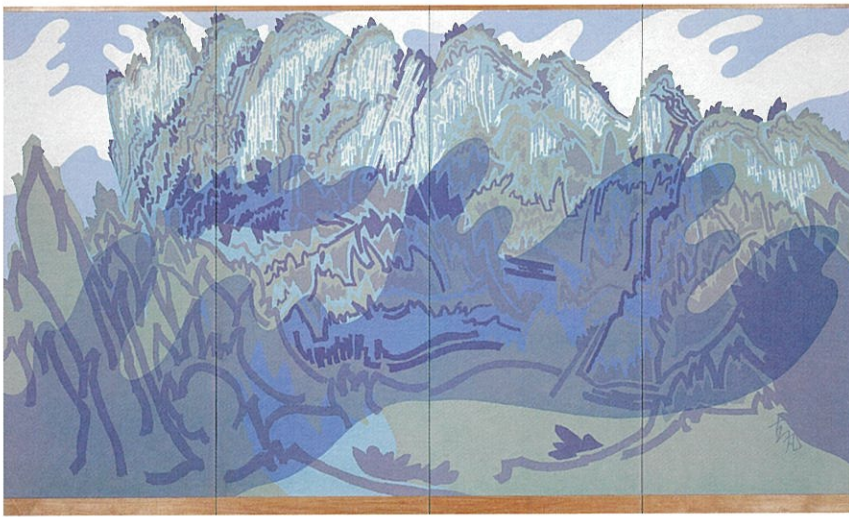
伊砂利彦  
井隼慶人  
大久保直丸  
小合友之助  
春日井秀大  
加藤正二郎  
加藤由起  
兼先恵子  
河田孝郎  
来野月乙  
黒田 暢  
佐野猛夫  
澁谷和子  
高谷光雄  
寺石正作  
鳥羽美花  
内藤英治  
中井貞次  
西嶋武司  
三浦景生  
皆川月華  
皆川泰蔵  
山本唯与志

SOMÉ  
MUSÉE DE SOME SEIRYU

染・清流館

<https://somesairyu.net/>





大久保 直丸「霧の音」 四曲一隻



加藤 由起「お手玉」 二曲一隻

## コレクション展

# 現代染色の屏風祭 — 祇園祭によせて —

祇園祭の宵山の時期に、山鉾町の旧家や老舗では、先祖代々伝わる美術品や調度品などを道行く人が見られるように飾る風習があり、祭を支えてきた町衆の文化を知る機会にもなっています。祇園祭は、着物や工芸品なども飾られますが、屏風が多く飾られることから別名「屏風祭」の名で親しまれています。

屏風は日本美術の代表的な表現形状ですが、その最小単位を「一扇」といい、これが六枚接続されたものを「六曲屏風」といいます。そしてこれが一つで「一隻」、対になれば「一雙」といいます。その特徴は、屏風は曲げることでどこでも自立し展示することが可能で、実際の生活や儀式

の場で使われるときには、そこが直ちに美術空間に変化します。美術館などでは描かれた表現を重視して、多くの場合「平置き」といって展示室の壁面に沿って、平に全開させて展示されます。

今回の展覧会では、染・清流館の所蔵作品から二曲の屏風を中心に、四曲、六曲の屏風、約25点を展示しております。そして展示では屏風本来の展示にこだわり、各自で表現画面の変化や見え方を楽しんでいただくことも、目的としております。自分の気に入った屏風の前で、ゆっくりと畳に腰をおろして鑑賞することをお勧めいたします。



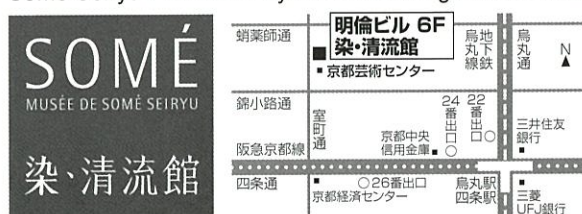
黒田 暢「錦通り富小路」 二曲一隻



西嶋 武司「無二山上有花風来園」 六曲一雙

染・清流館は現代の染色美術の作品を展示しています。畳敷きの展示室で染めの美をゆっくりとご鑑賞いただけます。

Somé Seiryu Pavilion in Kyoto is exhibiting modern textile dye art. Visitors will enjoy the beauty of Somé (textile dye art) at the Tatami room.



<https://somesairyu.net/> ※ホームページをリニューアルしました。

開館時間：午前10時～午後5時  
休館日：月曜(祝日の場合は翌日)  
入館料：大人300円、学生200円

- 市営地下鉄四条駅または阪急電車烏丸駅下車 22番または24番出口から徒歩5分
- JR京都駅からバスで四条烏丸下車、徒歩5分
- 京都芸術センター北隣
- ※染・清流館へお越しの際は、公共の交通機関をご利用ください

〒604-8156 京都市中京区室町通錦小路上ル山伏山町 550-1 明倫ビル 6階 ☎075-255-5301